

書 評

J. H. Warfel 著・矢谷令子・小川恵子訳
「図説 筋の機能解剖 改訂第2版」

東京都養育院付属病院 松 村 秩

第2版の翻訳が初版よりも少し厚くなり、内容も充実して出版された。

10年余り前に、初版は出版されたが、7刷まで版を重ね、その間、原著になかったものが参照の欄に書き加えられて、筋の機能解剖を勉強する者にとって大変便利になっている。

これも訳者の長い間の教鞭生活からの経験と苦心によるものである。

本書はすべてイラストで描かれており、解剖書の写真とか絵だけでは分かりにくいところが、イラストによって分かり易くなっているのが最大の特色である。

しかしながら、イラストにはイラストのもつ限界というものがあるので、それを補う意味で、参照にあげてある Gray および Grants atlas と照らし合せてみることで学習効果が上がるように工夫されている。

筋の機能解剖を理解するうえで、筋とその支配神経および動脈の位置関係を知り、覚えることは PT, OT にとって非常に重要なことである。この点については、本書はイラストのもつ利点がいかに発揮されており、明快に理解できるようになっている。

motor points (運動点) も図示してあるのは本書の特色であり、臨床的にも便利なものである。

本書の内容は四肢編と頭・頸・体幹編の2つに分かれており、その分類のしかたも分かりやすくなっており、学生のみならず、PT, OT も日常、臨床の場面でハントイに使えるものである。

今回、新たに関節可動域表示ならびに測定法が巻末に付録として載せられているので、一層便利になった。これも訳者らの親切な人柄によるものであろう。

(B5 頁263 図220 写真1 ¥3800 〒240 1978)

医学書院刊